

運が悪いのではないのであります。

春寒の候、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私は、この巻頭挨拶を2001年8月から休まず書いています。今回、書こうと思った事が2010年10月号に似ていたのでリメイクしました。



代表取締役社長 吉田治伸

当グループでは、毎日、ビルメンテナンスの仕事を中心に100以上の事業所で2700名の方が働いています。こんなにたくさんの人が働いていると結構いろいろなトラブルがあります。先日も、あ

る現場で、入社した人間が短期間で何人も退職した事で大変なお叱りを頂戴しました。人の採用時のトラブルは、少しずつ減って参りましたが、私が入社した20年前はしょっちゅう起きていました。もっと情けない出来事で、入社した当日、終業後、当社の制服を着たまま帰り、お客様の施設に立ち小便しているのを見つけた事があります。こんなトラブルがあると会社のみんなは、「運が悪い」、「清掃の仕事にはこんな人間しか入社してくれないからしょうがないと嘆いていました。」

本当にそうでしょうか？

私は違うと思います。

「清掃」という仕事につくから「いい加減」なのではありません。「会社」の対応が「いい加減」だから社員に「いい加減」な対応をされるのです。いい加減な面接、いい加減な教育研修、いい加減な職場の雰囲気、……

人は、給料が安いから「いい加減」な事をするものではありません。

「会社」が「社員」の事を大切にすれば「社員」も「会社」を大切にしてくれるのです。

同様に、「会社」が「お客様」を大切にすれば、「お客様」も「会社」や「社員」を大切にしてくるのです。

世の中の「運が悪い」という事には、理由があるのであります。